



## 亀井大輔『デリダ 歴史の思考』

(法政大学出版局) 合評会

日時：2019年3月16日（土）14.00-17.00

場所：立命館大学（衣笠キャンパス）

末川記念会館・第三会議室

基調講演：亀井大輔（立命館大学）

発表：宮崎裕助（新潟大学）

郷原佳以（東京大学）

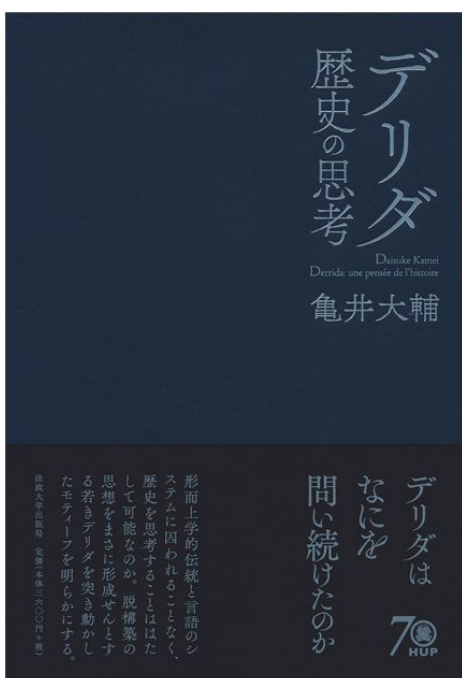
松田智裕（立命館大学）

司会：西山雄二（首都大学東京）

主催：脱構築研究会、立命館大学間文化現象学研究センター

共催：立命館大学人文科学研究所

入場無料、事前登録不要



亀井大輔『デリダ 歴史の思考』（法政大学出版局）「歴史とは何か」と問うとき、われわれは起源から目的へと直進する哲学的伝統と言語のシステムに囚われてしまう。一九六〇年代のデリダはそのような歴史、あるいは歴史を思考することの困難をモチーフとして脱構築の思想を形成し、自らの理論の射程を爆発的に拡大していった。初期デリダの諸論考をクロノロジックに読み解くことで、その独創的な仕事に通底する「歴史の思考」を示す。